

放送ストリーミング情報収載

放送ストリーミング情報【2024No.353】(HP 収載)

分類：ネットストリーミング

局等：Digital Concert Hall

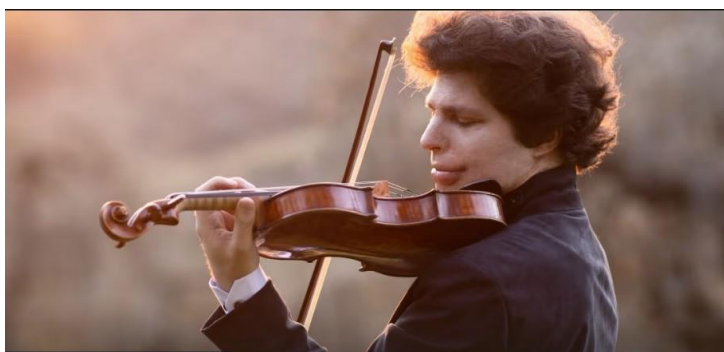
作曲家：アントン・ブルックナー

曲名：交響曲第7番ホ長調

演奏：マレク・ヤノフスキ指揮ベルリンフィル

関連サイト：<https://www.digitalconcerthall.com/ja/concert/55630>

2024年10月13日大ホールでの演奏です。



ヤノフスキとハーデリヒがメンデルスゾーンのヴァイオリン協奏曲で共演
ブルックナーの交響曲第7番は、ベルリンフィルの緻密な室内乐的アンサンブルから力強いトゥッティの響きまで、その音楽作りのあらゆる側面を味わえる作品です。メンデルスゾーンのヴァイオリン協奏曲も、ブルックナー同様ロマン派の作品ですが、より軽やかな音の世界へと私たちを誘うでしょう。指揮を務めるのは、今回のレパートリーで高い評価を得ているマレク・ヤノフスキ。ヴァイオリン独奏は、ベルリンフィルへの再登場となるアウグスティン・ハーデリヒです。

以上の他に下記が演奏されました。

フェリックス・メンデルスゾーン ヴァイオリン協奏曲ホ短調 op. 64

アウグスティン・ハーデリヒ(ヴァイオリン)

《オレンジ・プロッサム・スペシャル》(アウグスティン・ハーデリヒ編)

アウグスティン・ハーデリヒ(ヴァイオリン)

今回は、仮想アース Crystal Ep-G の導入(3)で報告した、Sonica DAC への Crystal EpY-G の接続を継続しています。

メンデルスゾーンのヴァイオリン協奏曲のハーデリヒは初めて聴く若い奏者です。ハーデリヒのフレッシュな演奏において、Sonica DAC への Crystal EpY-G の接続でヴァイオリンの滑らかさが増しているように感じます。

アンコール曲の《オレンジ・ブロッサム・スペシャル》(アウグスティン・ハーデリヒ編)は、ハーデリヒがなみなみならぬ技巧の持ち主であることが分りました。

ブルックナーの交響曲第7番は、今年がブルックナー生誕200年にあたるとことで、ブルックナーの作品が取り上げられる機会が多く、その一例です。出だしの弦のトレモロから Crystal EpY-G の効果で滑らかさが違い、総奏の緻密な厚みもこれまでと違います。ヤノフスキの指揮は、地味ながらオーソドックスにこの曲の姿を忠実に描いています。



以上